

短大特任教員教育研究業績書

平成 30年 4月 23日

氏名	ふりがな	所属	職位	性別
上山 明子	うえやま あきこ	保育学科 通信教育課程	教授・准教授・講師・ 助教	男・ 女

担当科目名

造形表現Ⅰ・Ⅱ

学歴

和暦(西暦)年 月	事項	学位
平成11(1999)年 3月	名古屋芸術大学美術学部彫刻科卒業	芸術学士
平成11(1999)年 4月	愛知県立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻入学	
平成13(2001)年 3月	愛知県立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了	修士芸術学
平成23(2011)年 4月	東京芸術大学大学院美術研究科 芸術学専攻 美術教育 研究生入学	
平成24(2012)年 4月	東京芸術大学大学院美術研究科 芸術学専攻 美術教育 研究生修了	

教育歴・職歴

名称	期間	教育内容又は業務内容
あいち造形デザイン 専門学校	平成13年～平成24年3月	講師
学校法人 中部大学 春日丘中学校 高等学校	平成14年～平成30年3月	非常勤講師
中部大学 現代教育 学部先端造形研究室 (山本眞輔研究室)	平成21年～平成24年3月	研究員
あいち造形デザイン 専門学校 高等課程	平成23年～平成28年3月	非常勤講師
愛知県春日井市西部 中学校	平成28年～平成29年3月	非常勤講師
名古屋経済大学市邨 中学高等学校	平成29年～平成30年3月	非常勤講師
清林館高等学校	平成30年3月～現在	非常勤講師
小田原短期大学	平成30年4月～現在	保育学科通信教育課程 助教

所属学会等

名称	活動期間	活動内容(役職等の活動を含む)
国画会	平成23年9月～現在	準会員 作品を発表する。
美術教育会	平成23年9月～現在	執筆・展示発表

社会活動等

名称	活動期間	活動内容
東山動物園『緑の中の彫刻展』の企画造形教室の指導	平成21年～平成28年	葉・木の実などを中心にグルーガンを使い組み合わせて彫刻を作る。
大阪教育大学 美術教育講座のプロジェクト、-生で触れよう日本の美術-	平成26年12月	教員を目指す学生に日本の美術に触れる授業を行った。 ・金箔貼りの体験 ・獅噛の略式乾漆技法で脱活乾漆技法の体験。 略式乾漆法 制作工程と粘土の上からモデリングする感覚を擬似体験できる。制作する漆はかぶれるやすいこと、すぐに乾かないため、漆の代わりに木工用ボンドで代用

担当教科目に関する資格・免許等				
名称	取得年月	取得機関		
高等学校教諭1種免許状(美術)	平成11年3月	愛知県教育委員会		
中学校教諭1種免許状(美術)	平成11年3月	愛知県教育委員会		
学芸員資格証明書	平成11年3月			
高等学校教諭専修免許状(美術)	平成13年3月	愛知県教育委員会		
中学校教諭専修免許状(美術)	平成13年3月	愛知県教育委員会		
研究実績に関する事項				
代表的な著書、論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌又は 発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文) 天平の塑造理解への一考察-高等学校の実践により-	単	平成25年6月	美術教育研究 NO19/2013	第一章では研究内容の2つを紹介する。一つ目は『自然素材と子どもとの隔たり-土について-』二つ目は『古典彫刻の技法から学ぶ素材としての土の魅力と造形表現の可能性』である。第二章では第1章での2つの考察から春日丘高等学校で授業を行った、『美術教育における天平の技法理解への一考察-中等教育の高等課程による実践例-』報告をする。美術教育はこの古典の技術と表現を指導する必要がある。乾漆表現の特徴を述べ、乾漆仏像の技法と表現について考察することで教育内容に古典の美を認識することの大切さと確認する。またどのような指導方法があるのか研究する。pp.20-29
美術教育において日本の古典美術をどのように生かすかについての一試案	単	平成23年5月	中部大学春日丘中学・高等学校研究紀要 桃園 第9号	第一章では、昨年度に学んだ研究内容の2つを紹介する。一つ目は『自然素材と子どもとの隔たり-土について-』二つ目は課題研究発表の資料『古典彫刻の技法から学ぶ素材としての土の魅力と造形表現の可能性』である。第二章では春日丘高等学校で行った授業を東京藝術大学で行われる研究大会で発表・展示した『美術教育における天平の技法理解への一考察-中等教育の高等課程による実践例-』報告をする。研究や授業での試みを通して今後の春日丘の独自性ある美術教育について考える。 pp.13-30
春日丘中学・高等学校の独自性ある美術教育を考える-美術教育研究大会の報告-	単	平成25年3月	中部大学春日丘中学・高等学校研究紀要 桃園 第10号	第一章では、昨年度に学んだ研究内容の2つを紹介する。一つ目は『自然素材と子どもとの隔たり-土について-』二つ目は課題研究発表の資料『古典彫刻の技法から学ぶ素材としての土の魅力と造形表現の可能性』である。第二章では春日丘高等学校で行った授業を東京藝術大学で行われる研究大会で発表・展示した『美術教育における天平の技法理解への一考察-中等教育の高等課程による実践例-』報告をする。研究や授業での試みを通して今後の春日丘の独自性ある美術教育について考える。 pp.47-68
(その他)				
1 蓮-たからもの-	単	平成20年5月	国画会 東京都美術館	第82回国展入選 乾漆技法を用いた子供の像
2 蓮-ちいさな冒険者	単	平成21年5月	国画会 東京都美術館	第83回国展入選 乾漆技法を用いた子供の像
3 蓮-生まれいずる時-	単	平成22年5月	国画会 新国立美術館	第84回国展 乾漆技法を用いた子供の像
	単	平成23年5月	国画会 新国立美術館	

4 蓮ー小さな光の訪れー	単	平成 24 年 5 月	国画会 新国立美術館	第 85 回国展入選 乾漆技法を用いた子供の像
5 蓮ーgrow outー	単	平成 25 年 5 月	国画会 新国立美術館	第 86 回国展入選 乾漆技法を用いた蓮と子供の像
6 蓮ーあなたを想うときー	単	平成 27 年 9 月	尾張旭スカイワードあさひ	第 87 回国展入選 蓮をくわえた女性像
7 個展発表	単	平成 26 年 5 月	国画会 新国立美術館	上山明子彫刻展ーいのちあるかたちを求めてー
8 蓮ーしあわせな時間ー	単	平成 27 年 5 月	国画会 新国立美術館	第 88 回国展入選 母子像
9 蓮ーあなたを想うときー	単	平成 28 年 5 月	国画会 新国立美術館	"第 89 回国展入選 蓮をくわえた女性像
10 蓮の子	単	平成 28 年 9 月	ギャラリー想	第 90 回国展入選 子供二人の像
11 個展	単	平成 29 年 5 月	国画会 新国立美術館	上山明子乾漆彫刻展
12 月夜	単	平成 30 年 5 月	国画会 新国立美術館	第 91 回国展入選 子の像
13 はじまりの青				第 92 回国展入選 母子像
その他 (表彰等)		平成 20 年 9 月	第 47 回中部国展 奨励賞 受賞	
		平成 21 年 9 月	第 84 回国展 F 氏賞 受賞	
		平成 30 年 2 月	名古屋市芸術奨励賞 受賞	